



御嶽山 火山防災だより



◆ 御嶽山をもっと知ろう:もし噴火が起こったら…③ ◆◆◆

前号では、御嶽山で過去に発生した噴火の前兆現象について紹介しました。今回は、一般的な噴火の前兆現象についてご紹介します。

考えられる現象⑤: 一般的な噴火の前兆現象

噴火の前兆現象: 火山では、噴火に先立ち前兆現象が起こることがあります(表1)。これらの現象は火山活動の活発化を示していますが、噴火に至らずそのまま火山活動が低下していく場合もあります。適切な火山観測により前兆現象をとらえて噴火を予知した成功例として、2000年の有珠山の噴火が有名です。御嶽山でも図1のとおり監視・観測機器が設置されていますが、前兆現象を的確に捉えるために、さらなる火山観測体制の充実が望まれています。

このような前兆現象が確認されると、気象庁より火山情報や噴火に関する予報・警報等が発表されます。皆さんは、役場等の指示に従って行動しましょう。

表1 火山噴火時に見られる前兆現象

| 前兆現象 | 説明 |
|-------------------|---------------------------------------|
| 火山性地震 火山性微動 | 山体内部でマグマや水蒸気の動きが活発化したときに見られる。 |
| 山体のふくらみ 地形の変化 | 地下からマグマや水蒸気が上昇することで生じる。 |
| 温泉などの 温度変化・白濁化 | 高温の水蒸気の上昇により、地中温度や噴気温度が上昇したり、水質が変化する。 |

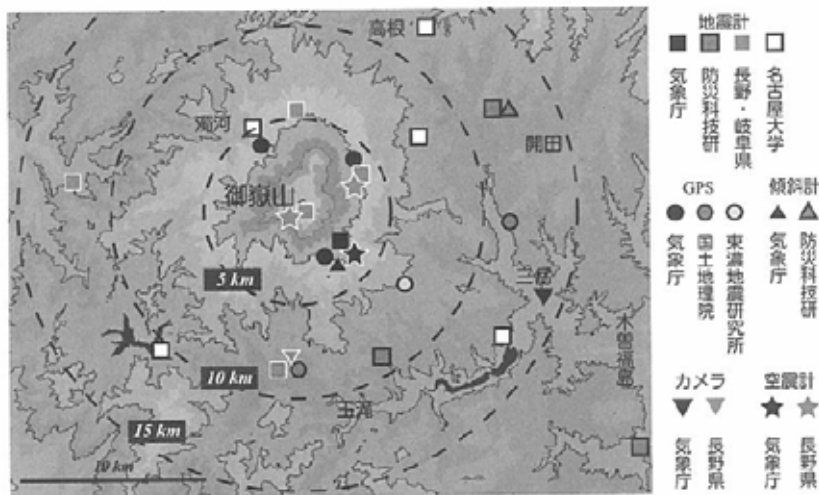


図1 御嶽山における火山観測機器配置図 (木股文昭 著: 信濃毎日新聞社発行「御嶽山 静かなる活火山」より)

霧島火山群 新燃岳の噴火について

平成 23 (2011) 年 1 月 19 日から小規模な噴火が続いていた新燃岳で、26日 52 年ぶりに爆発的な噴火が発生しました。なお、地下のマグマの蓄積を示す山体のふくらみは 2009 年 12 月より観測されていましたが、爆発的噴火の直前に明瞭な前兆現象があったという事は報告されていません。

また、気象庁は、この噴火に伴い噴火警戒レベルを 2 (火口周辺規制) から 3 (入山規制) に引き上げました。

火山から噴出した火山灰や噴石によって、周辺地域住民をはじめ交通機関に至るまで甚大な被害を受けています。新燃岳北東に位置する宮崎県高原町では、30 日深夜から火砕流発生を警戒し対象住民に避難勧告が発令されました。

火山活動は現在も継続しており、今後も火山活動にともなう噴石や火砕流、降雨後の土石流や泥流の発生による被害が懸念されています(10日現在)。



↑霧島火山群。噴煙が立ち上っているのが新燃岳(2011/1/31撮影)。
←新燃岳の火口内部には溶岩湖ができています(2011/2/1撮影)。(アジア航測HPより)

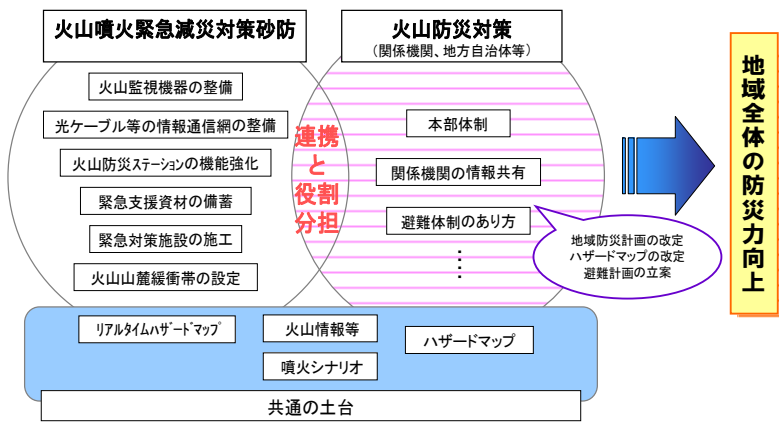


◆ 第 3 回 御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画

検討会を開催しました ◆◆◆

平成 22 年 12 月 24 日(金) 多治見市文化会館にて

検討会では、緊急減災対策砂防計画策定後も情報交換等を行う連絡会の位置付けや、緊急減災対策で実施する項目や役割分担を検討しました。関係各機関が意見を出し合い、活発な話し合いがもたれました。今後も実行性のある対策となるよう、引き続き検討を進めます。



地域全体の防災力向上

ひとこと



木曾町町長
田中 勝己 氏

御嶽山は古くから信仰の山として信者の畏敬を集めてきました。近年では、美しい独立峰としての景観や御岳ロープウェイによるアクセスのよさなどに、登山ブームが相まって、老若男女を問わず県外からもたくさんの方においでいただいています。

昭和 54 年の噴火以降ごく小さな噴火しか起きていませんが、関係機関や研究者のお力を借り、御嶽山が現在どのような状況なのか、また将来何が起こりうるのかを把握して、地域住民を始め登山客等に広く情報を公開していきたいと思います。

これまで非常時に備えヘルメットや懐中電灯等の整備を行ってきましたが、各関係機関と連携を深めながら、平常時から準備する事柄や役割分担・協力体制など一層の対策を講じてまいりたいと思います。

火山防災対策の枠組みと火山噴火緊急減災対策砂防計画の位置づけ
(火山噴火緊急減災対策砂防計画策定ガイドライン)

御嶽山のめぐみ ⑤

御嶽山の東麓、木曾町三岳井原地区の西野川沿いでは、1～2月にかけて、岩肌から伝った御嶽の清水が厳しい寒さで凍りつき、美しい氷のカーテンを織り上げます。雪の白さと陽に照らされた氷の青さが織り成す壮大な情景は、息を呑む美しさです。夜にはライトアップされ、昼とは異なる神秘的な美しさです。



白川氷柱群 (木曾町観光協会 HP より)

◆ 次号の内容 ◆

御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画 (素案) について ※ 4 月発行予定

既刊はこちら (多治見砂防国道事務所 HP 内)
<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/sabo/ontake/ontakesan.html>



国土交通省 中部地方整備局 多治見砂防国道事務所
〒507-0023
岐阜県多治見市小田町 4-8-6
砂防調査課
TEL : 0572-25-8020 (代表)
FAX : 0572-25-7994
URL : <http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>
E-mail : tajimi@cbr.mlit.go.jp



協力：王滝村・木曾町・高山市・下呂市・長野県・岐阜県

